

# 令和4年度 福井市灯明寺中学校 スクールプラン

## 【福井市学校教育目標】

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

## 【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につながる  
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

## 【灯明寺中学校区教育】

- ・「灯中校区スタンダード」の推進
- ・小中9年間を見据えた児童生徒理解の推進
- ・中学校区の学校間の情報共有の推進
- ・小中の円滑な接続と中学校区教員による相互交流

## 【学校教育目標】

「自主的で活力に満ち、心豊かで誠実な生徒の育成」

## 【校訓】 研学 振気 愛敬

## 【目指す生徒像】

- ・互いに研ぎ合い、自ら学ぶ意欲のある生徒
- ・互いに励まし合い、覇気あふれる生徒
- ・互いに認め合い、信頼され、尊敬される生徒

## 【研究主題】

豊かな関わり合いの中で、主体的に学びを深める生徒の育成

## 【目指す学校像】

「夢を持ち、日々を大切に歩む生徒があふれる学校」

## 【目指す教師像】

- ・将来の夢を抱かせることができる教師
- ・豊かな人間性と人権感覚をもつ教師
- ・生徒の良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師
- ・責任感・協調性を有し、互いに高め合う教師

## 重点目標

### 生徒が主体的に取り組む授業づくり

- 生徒が意欲的に学ぶ授業づくり
- 思考力・判断力・表現力等の向上
- 学力向上に向けた基礎基本の習得
- 学習習慣の定着と学習規律の徹底

### 居場所づくり・絆づくり

- 自己有用感を育む学年・学級づくり
- いじめ・不登校の未然防止
- 家庭と連携した生徒の育成
- 地域理解と愛着を高める体験活動

### キャリア教育の充実

- 夢や希望をもつことができるカリキュラム作成
- 夢や希望を実現するための課題解決学習の推進
- 生徒の手による諸活動の活性化

## 具体的な取組

○学習課題提示の工夫、協働的な問題解決の工夫、学びの振り返りを設定していく。

○授業公開週間を設け、積極的に相互の授業参観を実施する。

○ドリルコンテスト等の活用による基礎基本の習得と定着を図っていく。

○自主学習ノートを活用した家庭学習の習慣化と内容・課題の出し方の工夫をしていく。

○灯中版「学習の心構え」の徹底により、落ち着いて学習できる集団の形成を図っていく。

○ICTの活用でわかりやすい授業を推進していく。

○教師主導で行う「居場所づくり」と生徒が主体となる「絆づくり」の推進していく。

○ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポートを通じた集団づくりを実践する。

○集団への所属感や成就感の獲得に向け、成功・感動体験を味わえる活動を設定していく。

○リーダーやフォロワー等の役割、目的を意識した縦割り活動や学年・学級活動を企画していく。

○OPTA、地区自治会と連携した地域貢献活動「絆プロジェクト」の実施やボランティア等、公民館等主催行事への参加を促す。

○夢や目標をもつことができるカリキュラムを、学級活動や総合的な学習の時間のカリキュラムに積極的に取り入れていく。

○課題解決学習を様々な場面（生徒会活動・委員会活動・学級活動・部活動等）で取り入れていくことを推進していく。

○生徒が主役となって計画立案していく学校行事を推進していく。

○これからの社会を生き抜いていくために生徒に必要な力は何かを教員間で共通理解し、生徒の内発的動機づけによる活動を推進していく。

## 数値目標

- ・学ぶ意欲を高める授業を工夫する 教 95%
- ・主体的に学習に取り組む 生 80%
- ・学習の心構えを守って学習した 生 90%

- ・みんなで活動するのは楽しい 生 90%
- ・生徒の良さを引き出すことができた 教 90%
- ・地域の良さが見つけれられた 生 80%

- ・将来の夢や目標をもつ 生 80%
- ・諸活動に意欲的に参加できた 生 80%
- ・生徒主体の場面を多く設定できた 教 90%

＜R-PDCAサイクルの推進＞ 調査(R)→計画(P)→実行(D)→点検・評価(C)→修正(A)

↓↑

◆教職員組織による協働と業務運営の効率化。

＜学校評価を生かした学校改善＞

◆教育活動や学校運営状況を評価し、結果に基づき学校運営の改善を図る。

＜業務改善・教員の適正な勤務時間に関する取組＞

- ◆行事の内容の精選。会議の数を減らし、時間を設定して行う。
- ◆校内ネットワークの工夫とデータファイルの管理・整理。
- ◆勤務時間、時間外に対する意識向上。